

48. ^{くまのさんけいみち}熊野参詣道—^{いせじ}伊勢路

—^{きいじ}紀伊路

—^{なかへち}中辺路

—^{おぐりかいどう}小栗街道

—^{おおへち}大辺路

—^{こへち}小辺路

選定箇所：

伊勢路—馬越峠道（三重県紀北町）～八鬼山道（尾鷲市）、女鬼峠—成川～相鹿瀬（多気町）、三瀬坂峠道—三瀬川～滝原（大紀町）、ツヅラト峠道—大内山志子谷～島原（大紀町・紀北町）、荷坂峠道—東長島、三浦峠道（熊ヶ谷道）—道瀬～三浦、始神峠道—三浦～馬瀬（紀北町）、三木峠道・羽後峠道—木里町～賀田町（尾鷲市）、曾根次郎坂・太郎坂—曾根町～二木島町（尾鷲市・熊野市）、二木島峠道・逢神坂峠道—二木島町～新鹿町（熊野市）、波田須の道—波田須町、大吹峠道—西波田須町～大泊町、観音道—大泊町、松本峠道—大泊町～木本町（熊野市）、横垣峠道—神木～阪本（御浜町）、風伝峠道—栗須～矢の川（御浜町・熊野市）、本宮道—矢の川、小川口～小栗須、小栗須～湯の口、湯の口～大河内、楊枝川（熊野市）、七里御浜—井戸町～紀宝町鷺殿（熊野市）、志古（和歌山県新宮市）～万歳峠（田辺市・新宮市）、大津荷（田辺市）～万歳峠（田辺市・新宮市）

紀伊路—河瀬王子～高家王子（和歌山県広川町～日高町）、藤白坂、拝ノ峠（海南市）、蕪坂（有田市）、糸我峠（有田市・湯浅町）、藤田町吉田（御坊市）、榎木峠（印南町）、千里の浜（みなべ町）

中辺路—大門坂～請川・熊野本宮旧社地～潮見峠（和歌山県那智勝浦町・新宮市・田辺市）南谷、鴻田、高野坂（新宮市）、殿和田（新宮市・那智勝浦町）、小獅子峠、大獅子峠、青岸渡寺～阿弥陀寺～妙法山、滝道（那智勝浦町）、大日越、耳打～渡瀬、赤木越、北郡越、長尾

坂（田辺市）、岩田（上富田町）、岡坂越（上富田町・田辺市）
小栗街道一本宮～湯峯、桧葉～四辻峠～武住峠、大瀬～四辻峠、和田峠、定峠、
水呑峠～草木尾坂（田辺市）

大辺路—駿田峠、二河峠、市屋峠、浦神峠（那智勝浦町）、清水峠（那智勝浦町・串本町）、袋平見、山越古道、高場平見、飛渡谷、地藏平見、富山平見、中平見、赤瀬平見、安指平見、新田平見、雨島平見、伝次平見（串本町）、六坊浜、大平見、中の平見、上平見、スリの浜、長井坂、タオの峠、馬転坂（すさみ町）、安宅坂（すさみ町・白浜町）、仏坂、富田坂（白浜町）

小辺路—八木尾（田辺市）

概要：熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社は「熊野三山」と呼ばれ、中世から多くの参詣者が詣でた。紀伊半島西岸を通る紀伊路、東岸を通る伊勢路、高野山と熊野三山を結ぶ小辺路に大別される。伊勢路は、特に江戸時代以降、伊勢参宮を終えた旅人や、西国三十三カ所めぐりの巡礼たちが利用した道である。紀伊路は紀伊半島を横断する中辺路と海岸沿いの大辺路に分岐する。そ

れぞれ一部が史跡「熊野参詣道」に指定され、中辺路、大辺路、小辺路、伊勢路は、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産である。

